

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 喀痰吸引研修事業費（介護分） （地域医療介護総合確保基金（介護分））

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

健康福祉部 高齢福祉課 事業者指導係 電話番号：058-272-1111(内3468)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 991 千円（前年度予算額： 2,039 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,039	0	0	0	0	0	2,039	0	0
要求額	991	0	0	0	0	0	991	0	0
決定額	991	0	0	0	0	0	991	0	0

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、一定の研修を修了した者についてはたん吸引等の医療行為が実施できるとされた。これを受けて、介護職員が安全に医療行為を実施できるための研修体制を整備するために、地域医療介護総合確保基金を利用し、研修指導者（指導看護師）を養成する。

（2）事業内容

平成24年までに指導者養成研修（国事業）を受講したもの及び令和2年度までに県が実施した指導者養成研修修了者が講師となり、研修において指導できる講師を養成する。研修は年2回開催し、年間80名ほどが受講する。

(3) 県負担・補助率の考え方

地域医療介護総合確保基金 10/10 (国2/3 県1/3)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費	354	研修講師に対する謝金
旅費	113	研修講師に係る旅費、職員の業務旅費
需用費	60	研修の教材に係る消耗品費
役務費	38	研修受講決定通知の発送等にかかる通信運搬費
使用料・賃借料	426	研修機材及び研修会場の借り上げ料
合計	991	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

(2) 国・他県の状況

(3) 後年度の財政負担

(4) 事業主体及びその妥当性

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

介護職員が安全な医療行為（喀痰吸引等）を実施できるための研修体制を整備するため、実地研修を実施できる指導看護師を養成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H23)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① 喀痰吸引を行う介護職員を養成するための指導者養成研修受講者数	0人 (H23)	618人 (R2.9)	658人	698人	698人	88.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、すべて中止した。
令和4年度	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	介護職員による医療行為(喀痰吸引等)は介護サービス利用者からのニーズがあり、それを安全に行うための研修体制を整備することの必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	指導者養成研修を通じて指導看護師を育成したことにより、介護職員が安全な医療行為を実施できるための研修体制が整備された。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 1	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度は実施できなかった。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 すべての介護保険施設等において喀痰吸引等の実地研修が実施できる指導看護師を養成する必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き指導者養成研修を実施し、喀痰吸引等の実地研修が実施できる指導看護師を養成していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】
--	-------